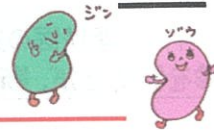


ネットワークで進めるCKD対策

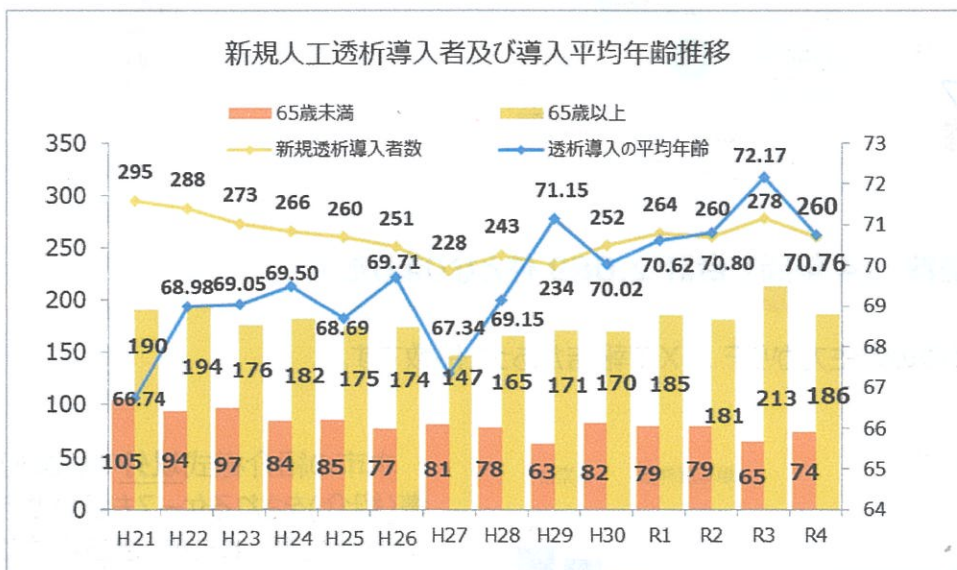


本市では、CKD（慢性腎臓病）を市の重要な健康課題と位置づけ、平成21年度よりCKD対策に取り組んでいます。このNEWSレターは、ともにCKD対策を進めていただいている、熊本市CKD対策病診連携医の登録医・腎臓専門医が在籍している医療機関及び、CKD対策協力団体へ送付しております。

熊本市における新規人工透析導入患者の現状

令和4年度の新規人工透析者数は**260人**

透析導入の平均年齢は平成21年度の66.74歳から**70.76歳**へ。



対策を開始してから平成27年までは、減少傾向でしたが、それ以降、**微増傾向**です。ただ、導入平均年齢については上昇しており、**透析導入を先送りできている**と見ています。

引き続き、生活習慣病の早期発見・治療、重症化予防の取組を推進していきます。

NHK『あしたが変わるトリセツショー』で熊本市のCKD対策が紹介されます！

「腎・CKD」をテーマに、『熊本市CKD対策推進病診連携システム』が紹介されます。



■放送日■

2023年7月13日(木) 19時57分より

島崎井上クリニック様にご協力いただき、「2人主治医制」を活用されている患者様の診療場面を撮影しました。撮影にあたり、ご協力いただいた患者様、井上先生、国立病院機構 熊本医療センター 梶原先生、大変ありがとうございました。

患者様向け「CKD 対策病診連携システム 紹介チラシ」を作成しました！

昨年度、連携医の先生方へアンケートを取らせていただき、その回答のなかで、「**患者さんへ専門医への受診を勧めたが、断られた**」・「**2人主治医制への理解が得られない**」といったご意見をいただきました

そこで、患者様にお渡しいただく用の「CKD 対策病診連携システム 紹介チラシ」を作成しました！

腎臓からのSOSを見逃していませんか?

腎臓の働きが弱くなると、体の水分調節がうまくいかなくなり、高血圧や人工透析・腎臓病が必要になる場合があります。心臓病や糖尿病などの病気が増え、命にかかわる危険があります。

CKD (慢性腎臓病) とは?

① 尿の検査 (尿蛋白、尿糖) がある
② 尿量の減少 (少尿) が定量的に確認できる
③ GFR (eGFR) が 60 ml/min/1.73m² 以下と診断されます。

自分でわかる、自分の口からもわかるサイン

尿蛋白が検出されたことか
尿量減りましたか?

尿蛋白 (陽性) 尿糖 (陽性) 尿量減少 (減少)

血圧が高いことか
糖尿病があることか?

血圧が高いことか (陽性) 糖尿病があることか (陽性)

腎臓病の検査結果が「陽性」であれば、腎臓病の可能性があります。GFR が低い場合は、腎臓病の可能性があります。

安心してCKDの治療を受けられる医療連携のしくみがありませんか?

かかりつけ医 (熊本市CKD対策推進員) と
腎臓専門医が連携して診療し (2人主治医制)、療養指導にあたります。

2人主治医制

かかりつけ医 (熊本市CKD対策推進員) と
腎臓専門医 (熊本市立総合医療センター) が連携して診療し、療養指導にあたります。

熊本市健康づくり推進課

腎臓と心臓の関係、深まっています?

腎臓は体の水分調節を担っています。腎臓が弱くなると、体の水分調節がうまくいかなくなり、高血圧や人工透析・腎臓病が必要になる場合があります。

腎臓と心臓の関係、深まっています?

腎臓が弱くなると、体の水分調節がうまくいかなくなり、高血圧や人工透析・腎臓病が必要になる場合があります。

腎臓と心臓の関係、深まっています?

腎臓が弱くなると、体の水分調節がうまくいかなくなり、高血圧や人工透析・腎臓病が必要になる場合があります。

腎臓と心臓の関係、深まっています?

腎臓が弱くなると、体の水分調節がうまくいかなくなり、高血圧や人工透析・腎臓病が必要になる場合があります。

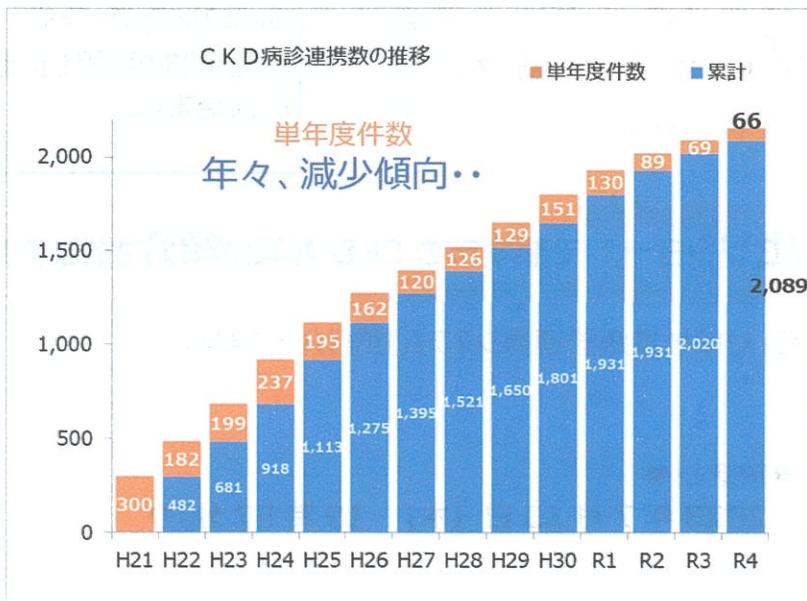
熊本市健康づくり推進課

腎臓専門医への受診について
患者様へ説明される際に、
ぜひご活用ください。



CKD 病診連携数 14年間で合計 2,089 件となりました！

この件数は、かかりつけ医の先生方から FAX で報告があった件数です。



本市の紹介様式以外で病診連携 (紹介) をされるケースも多いのではないかと推察されます。**独自様式で病診連携 (紹介された) ケースであっても、可能な限り、「熊本市 CKD 病診連携 FAX 連絡票」** を市にお送りいただければ幸いです。

【熊本市 HP に掲載】
CKD 病診連携医名簿、
専門医名簿、紹介状様式等

熊本市病診連携

制作：熊本市健康づくり推進課

住所) 熊本市中央区手取本町 1-1

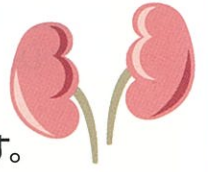
TEL) 096-328-2145 FAX) 096-351-2183

メールアドレス) kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp

ホームページアドレス) <http://www.city.kumamoto.jp/>



腎臓からのSOSを見逃していませんか？



腎臓の病気は初期には自覚症状がありません。
放置すると人工透析や腎移植が必要になるばかりでなく、
心筋梗塞や脳卒中の危険が高まります。早期から適切な治療を受けることが大切です。

CKD (慢性腎臓病) とは？

- ①尿の異常 (尿蛋白、尿潜血) がある
- ②腎臓の働き (eGFR) が正常の60%未満である

①、②のいずれか、又は両方が3か月以上続く状態です。

健診を受けて、自分の腎機能をチェックしましょう！

尿蛋白が陽性だったことは
ありませんか？

尿検査	糖	(-)
	蛋白	(1+)
	潜血	(-)

腎機能	尿素窒素	12.1
	クレアチニン	1.1
	e G F R	56.9
	尿酸	3.6

血清クレアチニンの数値から、
腎臓の働きを示すeGFRが分かります。

熊本市には **安心してCKDの治療を受けられる医療連携のしくみ** があります

かかりつけ医 (熊本市CKD対策推進病診連携医※1) と
腎臓専門医が連携して診療し (2人主治医制)、療養指導にあたります。

※1
病診連携医とは、熊本市が行う説明会に参加し、CKD対策の推進に賛同・協力されるかかりつけ医のことです。

「病診連携医」はホームページで確認することができます。
(熊本市のホームページから「病診連携医」で検索)



2人主治医制

かかりつけ医

紹介

逆紹介※2

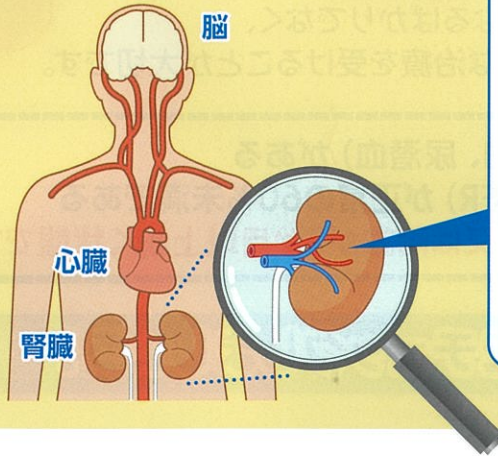
腎臓専門
医療機関
(専門医等)

※2
逆紹介とは、症状等が安定した後、患者が受診しやすい地域の「かかりつけ医」に紹介すること。



腎臓と脳や心臓の関係、尿蛋白って？

腎臓は体に2個、
脳や心臓と血管でつながっています。



ろ過
老廃物が混じった血液 → ろ過されてきれになった血液

ろ過により抽出された老廃物は、尿として体の外に出されます。

1個の腎臓には、毛細血管の糸玉が約100万個

毛細血管の糸玉に傷がつくと、蛋白が尿へ漏れていきます。

健診で尿蛋白が「+」と出たけど、どういう意味ですか？

痛みもないし、体調も悪くないから、このまま様子を見ようかな？



腎臓は毛細血管が糸玉のようなかたまりになったものが集まった臓器です。
この血管の糸玉で、**老廃物をろ過**しています。

尿蛋白が「+」ということは、この**血管に傷**がついて、本来、体の外には出ていかない蛋白が尿に漏れていることを示します。

尿蛋白は腎臓の血管に傷がついているサイン。
全身の血管の傷みも疑われ、**脳卒中**や**心臓病**の危険性が高まります。



まずは**早期の受診!**
血管を傷めるような病気（**糖尿病**や**高血圧症**等）があると**CKD**の進行が早まります。
これらの病気をしっかり治療すれば**CKDの進行を遅らせる**ことができます。

安心して受診を



かかりつけ医
(病診連携医)



腎臓専門医

CKDをきちんと管理すれば、脳卒中や心臓病の危険性を下げることができます。
熊本市では、**かかりつけ医と専門医が連携して診療にあたるしくみ**があります。
かかりつけ医から専門医へのご紹介があった場合は、是非**専門医を受診**しましょう!